

2021年8月26日
株式会社アドヴィックス

“信頼性・耐久性・悪路走破性”に貢献するアドヴィックスの新技术が
TOYOTA 新型ランドクルーザーに採用

株式会社アドヴィックス（本社：愛知県刈谷市、社長：大竹哲也、以下、アドヴィックス）の新技术が、2021年8月2日に発売された TOYOTA 新型ランドクルーザーに採用されました。

今回採用された新技术は「次世代オフロード制御（クロールコントロール）」「大型車向けキャリアパー体型電動パーキングブレーキ」で、ランドクルーザーの本質である“信頼性・耐久性・悪路走破性”に貢献し、“世界中のどんな道でも運転しやすく、疲れにくい走りを実現する”クルマの一翼を担います。

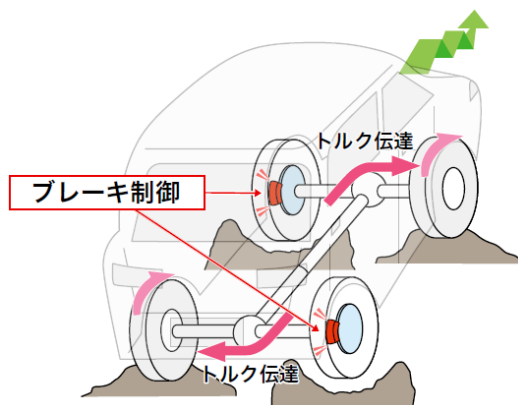
アドヴィックスは、世界トップレベルのブレーキシステムサプライヤーとして、新たなニーズに対応した次世代ブレーキの開発にこれからも挑戦してまいります。

今回新たに開発した商品

■次世代オフロード制御（クロールコントロール） ※トヨタ自動車株式会社と共同開発

クロールコントロールは、激しい悪路を走行するドライバーの負担を大きく軽減する機能です。エンジン出力やブレーキ油圧を自動でコントロールし、スリップや車輪ロックを回避して極低速を維持することで、ドライバーはアクセルやブレーキ操作から解放され、ハンドル操作のみに集中できます。

今回、アドヴィックスの電子制御ブレーキシステム（AHB-Rx）と高性能 ESC モジュール（V3.5G）を搭載することで、高い応答性やスムーズな制御、作動時間の延長を実現し、従来から強みであった、険しい岩石路のような本格オフロードでの走破性・安心感を大きく高めるとともに、雪道やダートのような実用域での質感を向上することで、あらゆる悪路でのユーザビリティを拡張します。



クロールコントロールによる制御



電子制御ブレーキシステム（AHB-Rx）

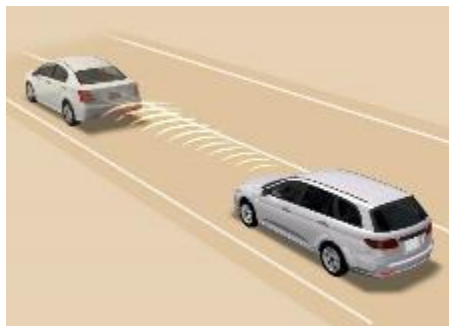
■大型車向けキャリパー一体型電動パーキングブレーキ

電動パーキングブレーキ(EPB)は、シフトレバーやアクセル操作に連動し、自動でパーキングブレーキを作動させることができます。全車速アダプティブクルーズコントロールやブレーキホールド機能での長時間停車保持を可能とし、ドライバーの負担を軽減します。

世界初の EPB 機構付きドラムブレーキを 2014 年に開発したアドヴィックスは、EPB のラインナップ拡充を進めており、これまで高級車を含む多くの小型・中型車に採用されてきました。今回、大型車に対応するキャリパー一体型 EPB(MOC2-L)を新たに開発したことで、軽自動車から大型 SUV まで幅広い領域をカバーします。



大型車向けキャリパー一体型
電動パーキングブレーキ(MOC2-L)



全車速アダプティブクルーズコントロール

以上

問い合わせ先	株式会社アドヴィックス 経営企画部 TEL : 0566 (56) 5938
--------	---